NPO地球の緑を守る会/〒158-0097世田谷区用賀4-34-12グリーンハウスNo.2—231号/Tel:03-5717-9358Fax:03-5717-9359/ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞhttp://midori.mond.jp/

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成30年(2018)5月10日

No. 125

発行　高津啓洋

新緑の中で春のセミナー

新緑の中、4月14日国立オリンピック記念青少年総合センターで春のセミナーが行われました。

高津理事長が、前庭のタブノキの下では、野外講義を行いました。人の命を守ってくれる樹木について説明。さらに、明治神宮の外縁に移動し、人の手で都会に復元した「原生林の様相」を持つ、世界でも稀有な森を見学しました。

教室に戻ってからは、パンタナールにおける環境問題と植樹活動についての活動状況を話しました。

首都圏支部長会議開く

第二回首都圏支部長会議が、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。この日、高津理事長がセミナーを担当していましたので、関東圏の集まれる支部長が集いました。特に、今年の目標である、支部の拡大をそれぞれが確認して出発しました。また武蔵野支部の横溝支部長が、静岡県の掛川に移動されるので新掛川支部の創設です。

レダで育つ木々を大切に

レダでは、日本の方々の支援によって多くの木が植樹されてきました。その管理も重要な仕事となっています。

伊達事務局長を中心にパラグアイで植樹を担当してきた現地メンバーが熱心に、苗木づくりをしています。採集した木々の種をポット苗に植え付け、ポット苗に十分に根を張った苗木を植え付けます。（日本の宮脇昭先生の方式を踏襲しています）そして、直射日光の強いレダでは、よくマルチングをして、水を撒いてあげます。特に、下草狩りは重要で、つる性の植物によって木が枯れてしまうこともあります。時には、下の写真のようにお芋を育てて、人や動物の食糧も作っています。是非一度見に来てください。

［お知らせ］7月21日（土）国立オリンピック青少年センターで、夏の1日セミナーを開きます。参加希望を募っています。